

【子どもの実態】

- ・相手意識、目的意識をもって話したり、書いたりすることを意識して表現しているが、まだ向上の余地がある。
- ・自己肯定感が高く、学習規律が整っており、ICTを活用して学ぶことができる。
- ・自分で判断し意欲的に学ぶことに課題がある。
- ・情報を整理しながら思考する力が不十分である。
- ・授業で考えを伝える力についてはきたが、他者の考えを理解する力が十分でない。

学校経営目標 誠実・親切・勇敢

学校教育目標

自分を大切に 人を大切に ふるさとを大切に
 しなやかに、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもの育成
「チャレンジ！藤江っ子」
 ～未来へ向かってアップデート～

21世紀型“スキル&倫理観”

学校まるごと学びの場～自分で考え 自分で選び 行動する～

主体的に学ぶ力

- ・日常生活をよくするために、生活体験などの情報を生かし、自分なりの理由をつけて課題を解決している。(1～4年)
- ・日常生活や地域社会をよりよくするために、様々な情報の中から課題に応じた情報を選択し、根拠をもって解決している。(5・6年)

思考力・判断力・表現力

- ・自分の考えを、相手意識をもって、話したり書いたりして表現している。(1～4年)
- ・既習事項を活用し、教科・領域および生活を関連付けながら、自分の考えや意見を工夫して表現している。(5・6年)

自己形成力

- ・思いやりの心を持ち、目標を達成するために、協力し合い、粘り強く努力している。(1～4年)
- ・誰に対しても思いやりの心を持ち、より高い目標を達成するために、相手の立場や考えを尊重しながら、粘り強く取り組み、やりぬいている。(5・6年)

主体的に学び続ける子どもの育成

～自己の学びを自覚し、他者との学び合いを通して～

研究主題

研究仮説

生活経験や既習事項をもとに付けたい力を明確にし、一人一人の学びを大切にしながら学び合う場を工夫することで、相手意識をもって伝え合うことで成長を実感できれば、主体的に学び続ける児童の育成を図ることができるであろう。

研究内容

- ① 授業づくりの視点
～「分かった！やってみよう！！」があふれる授業づくり～
- ② 指導方法の工夫（教材研究の充実）
～ 学びをつなぐ、学びでつながる、学校まるごと学びの場 ～
- ③ 個に応じた指導の充実
～「一人一人の学びを大切に、どの子どもみんなに意欲・自信を！」

検証指標

- ① 学期末テストの目標展を上回る児童70%以上（学期末テスト）
- ② 学び合いを通して自分の考えを深めたり広げたりすると答える児童80%以上（学びのアンケート）
- ③ 最後までやり遂げられて嬉しいと答える児童85%以上（生活のアンケート）

めざす授業の姿 ～創造的思考を培う授業～

- ① 「何を」「どのように」学ぶのかを児童と共有し、1時間の学びで児童につけたい力を明確にした授業
- ② 生活や経験、他の教科・領域と関連付けながら、児童自らが課題を見つけ、主体的に考え、表現する授業
- ③ 授業の終わりの振り返り（自己評価）を通して、児童が学びの変容を実感し自己肯定感を高めることのできる授業
- ④ 関わり合う場の相互評価を通して、友達のよさや自分の成長を実感し、さらなる目標を設定して取り組む意欲を高めることのできる授業

(1) 研究内容 ～主体的に学び続ける子どもの育成～

① 授業づくりの視点～「分かった！やってみよう！！」があふれる授業づくり～

ア 授業計画

- ・「つなぎの年間計画」活用による途切れない学び
- ・ゴールイメージを子どもと共有し、つける力が明確な単元づくり

イ 一人で学ぶ、友達と学ぶ、みんなで学ぶ

- ・課題解決のために必要な学習方法を選び取り組む（過程の充実）
- ・相手を意識した、分かりやすい表現（言葉・図・ICTの効果的な活用）
- ・他者の考えを理解し、思考が深まる話し合い（場の設定）
- ・「伴走者」としての教師の役割

「コミュニケーションを通じたつながりあう力」の獲得

ウ 振り返り

- ・児童自ら、学びの変容を自覚でき、次の学びにつながる振り返り

【振り返りの視点】（毎学習後）

- ・分かったこと
- ・これまでよりも深まった、広まったと思うこと
- ・これまでの考え方が使えたこと
- ・友だちの考え方で「いいな！」と思ったこと
- ・もっとやってみてみたいと思ったこと

【振り返りの視点】（単元の最後）

- ・できるようになったこと
- ・考え方が変わったこと
- ・これからしてみたいこと。

学習前の自分・友達の考え・生活経験と比較して書かせる

② 指導方法の工夫 ～ 学びをつなく、学びでつながる、学校まるごと学びの場 ～

ア 学び合うための場の工夫

- ・同学年・異学年・他校交流を通して、自己表現力を磨く

イ 学びの力をつけるために

- ・視覚的に情報整理・・・・・・・・分かる情報を書き込む 図や絵で表す
- ・根拠を明確に思考・・・・・・・・理由を示す
- ・条件に沿って表現・・・・・・・・問われていることに沿って答える

ウ 豊かな読書経験

- ・読書を通して、想像力や語彙力を豊かにする
- ・読書を通して、つながりあう「読書のわ！」
- ・日常的な図書館の活用

③ 個に応じた指導の充実 ～「一人一人の学びを大切に、どの子どもみんなに意欲・自信を！」～

ア 個のつまずき、学びの変容に対する分析と手立て、個に応じた支援

イ 学びの根底を支える基礎学力の定着（家庭学習、学びタイム、タブレット学習の活用）

ウ 発展的・探究的な学び、興味関心を広げ・深める自学「ステップノート」の取組

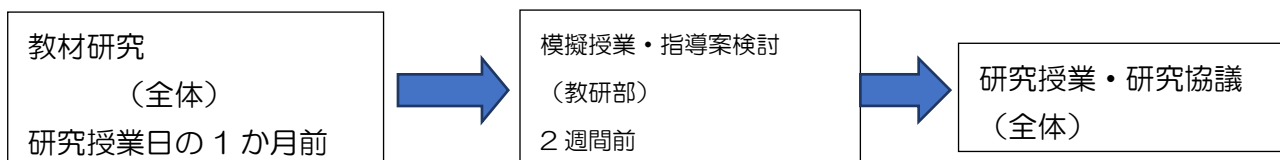
(2) 研究体制

①グループ

高学年グループ（4・5・6年、な2）

低学年グループ（1・2・3年、な1）

②授業研究までの流れ・スケジュール



(3) 研究年間計画

月 日	研修開始時刻	内容	学年・授業者	備考
4月26日(金)	15:00	西部地区		一斉研修
4月25日(木)	15:00	研究構想・教材研究(①)	全体	
5月2日(木)	15:00	模擬授業①(な12)		
5月10日(金)	13:25	研究授業①	な12	一斉研修
5月28日(火)	14:00	精華中研究授業		精華中学校区合同研修(精華中)
6月3日(月)	15:00	教材研究(②)		情報交換会
6月11日(火)	15:00	模擬授業(②)		
6月28日(金)	13:25	研究授業②「角と角度」	4年	6月27日一斉研修が水泳のため
6月20日(木)	15:00	教材研究(③)		
6月27日(木)	15:00	模擬授業(③)		一斉研修
7月9日(火)	13:25	研究授業③「数を整理しよう」	1年	幼稚園連携を含む
8月2日(金)	午前	保育体験		一斉研修
		1学期研究授業の検証(実践のまとめ・改善指導案)		
		指導案作成・検討(2学期の研究授業) 生活・総合学びの交流		
		道徳参観日(9月13日金) 指導案作成・検討		
		図工 実技研修※検討中		
8月2日(金)	15:00	教材研究(④)		一斉研修
9月5日(木)	15:00	模擬授業(④)		
9月19日(木)	13:25	研究授業④単 「位置当たりの大きさ」	5年	一斉研修
10月3日(木)		西部地区		西部地区小中一斉研修
8月20日(火)	15:00	教材研究(⑤)		
9月26日(木)	15:00	模擬授業(⑤)		
10月17日(木)	13:25	研究授業⑤「かけ算」	2年	
8月22日(木)	15:00	教材研究(⑥)		
10月7日(月)	15:00	模擬授業(⑥)		情報交換会
10月28日(月)	14:00	研究授業⑥「比」	6年	精華中学校区合同研修(藤江小)
10月24日(木)	15:00	教材研究(⑦)		
11月7日(木)	15:00	模擬授業(⑦)		
11月21日(木)	14:30	研究授業⑦「分数」	3年	一斉研修
12月5日(木)	15:00	西部地区		一斉研修
研究授業の他に、1月中に1人1教科単元計画入り略案を作成し公開授業を行う。				
1月30日(木)	14:00	金江小研究授業		精華中学校区合同研修(金江小)
2月18日(火)	15:00	西部地区		西部地区一斉研修
2月20日(木)	15:00	研究のまとめ	全体	

※月1回互いの授業を見合い交流する。

※ 昨年度講師の先生を招聘した研修

	講師	内容	備考
1	内田指導主事	ICT	6/27 10/4
2	中林 浩子教授	特別支援	8/4, 10/6,
3	皿田弘美 サラダ文教社	図画工作科実技 研修	彫刻について…8/22
4	山口幸造校長 服相小学校	道徳	道徳について 8/24 学びづくり案検討
5	小梨貴弘教諭 埼玉県戸田市立戸田東小学校	音楽	ICTを使った音楽について 8/25

(4)「学びのアンケート」について(5月・12月実施)

①ねらい

- ・ 児童の「学びの意識」について客観的にとらえる。
- ・ 児童の学びの意識を高める。

②内容

【 学びのアンケート 】

- 5 よくあてはまる 4 少しあてはまる 3 どちらともいえない
2 あまりあてはまらない 1 まったくあてはまらない

	質問項目
思考力	1 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。
	2 自分に合った教え方、教材、学習時間を選んで勉強していますか。
	3 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげていますか。
	4 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめていますか。
	5 学習するときは、見通しをもって始めていますか。
主体性	6 考えを発表する時には、考えが伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。
	7 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。
	8 授業で学んだことをほかの学習で生かしていますか。
	9 意見を聞いたとき、自分ならどうするか考えていますか。
	10 失敗をおそれないで挑戦していますか。
図書館利用	11 何かをするときは、自分で判断して行動していますか。
	12 授業で図書館を利用していますか。
	13 以前よりも図書館を利用していますか。
	14 目標冊数に向けて読書していますか。
	15 どのくらい本を読みましたか。

【昨年度の研究のまとめ】

2 成果と課題

本年度、「主体的に学び続ける子どもの育成」を目指し、事前学習を通してじっくり考える時間を設けた。また、「ふりかえり」の記述では、を通して子どもに自分の学びの変容を自覚させ、教科・領域を横断的に見通して学びを進めた。学びのアンケートの結果から、児童は主体的に学び続ける力がついたと考えられる。児童と計画を立てて学習の見通しをもち、次の学習のために事前にじっくり考え、授業で交流し思考を深めることができた。また、授業での交流を通して、「分かったこと」「これまでの考え方が使えた！おもしろいと思ったこと」「友だちの考え方ですごいと思ったこと」「もっとやってみたいと思ったこと」「これまでよりも深まった・広まったと思うこと」の視点でふりかえることで、学びののび自己評価し、次の学習につなげる児童が増えた。

授業研究では国語科、算数、体育科など様々な教科で ICT を効果的に活用した授業を行った。

国語科では、1年「くちばし」や、5年「俳句を作ろう」の学習で ICT を活用した。友達にアドバイスをする際には、タブレット内のデータを使い、事前にじっくり考える時間をとり、交流ではよりよい考え方や言葉を交流したり、いい所を見つけたりすることができた。

算数科では、2年「長さ」や、3年「三角形」の求め方、三角形の仲間わけの考え方の発表をモニターを使って交流した。友達の考えと自分の考えを比べて新たな発見をし、考え方の理解をより深めることができた。

体育では、5年がハートレートを活用し運動量を視覚的にとらえ、自分に合った運動を継続する体育を行った。運動量はここによって適切なものがあると知り、自己や他者の理解につながった。また、長く継続的に運動できるようにするには、自分の運動を調節することが必要と体験することができた。6年「ボール運動ゴール型」では、タブレットを使って話し合うことで、自分や仲間、相手の動きを考える活動を行い、思考を深める体育を行うことができた。

総合的な学びでは、他校と本校とをつなぎ、互いに意見を出し合いよりよい表現活動になるよう授業を発信することができた。

4年国語「伝統芸のよさを伝えよう」、なかよし1組自立「みんなでストライク」、なかよし2組自立「今日はあなたが先生です」の学習では、相手意識をもって分かりやすく伝えるために、文章の構造を考えたり、相手が楽しめるルールを考えたりすることができた。

来年度は、児童が自ら課題を見つけ解決する児童主体の授業スタイルをより一層定着させていく。そのために、単元計画を見通し、教科や児童同士がつながるよう、児童と学習計画を立て、ゴールを見通し関わり合う場を設定する。見通しをもつことで、事前に、じっくりと考え、授業で互いの意見を交流し深め、豊かな自己表現力を育むことができる授業を目指す。ふりかえりでは、児童が学んだこと・気付いたこと、学びが変化したことなどを自己評価し自己肯定感を高める、次の学習への意欲につながるようにする。